

令和4年3月7日

高知市長 岡崎 誠也 様

高知市交通問題審議会
会長 熊谷 靖彦



高知市交通基本計画（2022年度改定版）の策定について（答申）

令和3年5月25日付け3重く交第11号で諮問のありました標記の件について、慎重に審議した結果、別添のとおり最終案を取りまとめましたので答申します。

答申に当たって

本審議会は、令和3年5月25日付けで高知市長から諮問された「高知市交通基本計画の見直し」において、公共交通、自動車交通、徒歩・自転車交通など交通全般にわたる施策の方向性について検討を進めてきました。

今日、交通環境を取り巻く社会経済情勢は急激に変化しており、特に地方都市では人口減少・少子高齢化が急速に進展し、公共交通の需要縮小や運転手不足など、移動や暮らしの基盤となる交通サービスを維持する上での課題が顕著となっています。

加えて、新型コロナウイルス感染症によって人々の生活様式が変化し、社会における人の流れが激減したことで、公共交通を担う事業者の経営は危機的な状況に陥っています。

こうした状況を踏まえ、本審議会では、交通を取り巻く社会経済情勢の変化やニーズに対応した持続可能な交通体系を構築し、高知市が目指す「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりに寄与するとともに、コロナからの社会経済の回復も見据えた施策を展開していくことが重要であるという認識の下、審議を行いました。

なかでも、市民生活に不可欠な社会基盤である公共交通を持続可能なものとし次代へつないでいくことは、高知市のまちづくりを考える上でも重要な課題であり、本計画においても、特に公共交通の維持・確保や交通体系の再編などの施策に重点を置くべきであると考えたところです。

また、今後、総合的に交通政策を推進していくには、これらの重点的な施策に取り組むと同時に、交通体系や費用負担の在り方についての議論も必要であると考えられます。その観点からも、これまで以上に市民・行政・事業者が連携・協力し、地域ぐるみで支え合うという視点が重要になると考えます。

これまでの審議を経て、本審議会は、高知市の総合的な交通政策の基本的な方向を示す、「高知市交通基本計画（2022年度改定版）」を別添のとおり取りまとめましたので、交通政策の指針として広く活用されることを期待し、答申いたします。

高知市においては、計画決定にあたっては、この答申の主旨を十分に生かされるとともに、決定後は実効性のある計画の推進に努められることを要望します。